

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2010年10月号 (No. 22)

平井会計事務所 税理士 平井満広
 〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
 芝浦アイランドエアタワー1704号
 電話:03-3452-7082 Fax :03-6303-3350
 Mail:m_hirai@hirai-ao.com
 URL:http://www.hirai-ao.com/

厳しい時代を乗り切ろう！知っておきたい必要人数の公式

不況が長引くと同業者で仕事を取りあうことになりま
 価格競争が激しくなって、ほとんどの会社で採算が悪
 化します。かといって価格を下げずにいると特別な技
 術やノウハウのない会社はよそへ仕事をとられてし
 まいます。こうした時代を乗り切るためには、低い売
 上でも利益が出るように自社のコストを抑えること
 が重要になります。

◆負担をかけずに少ない人数で

コストのなかでも「人件費」は大きな金額を占める
 項目です。「少ない人件費で売上や利益をどうやっ
 て出すか」これが業績改善の大きなカギといつも
 いでしょう。そのためには、単純に在籍人数を減
 らすのではなく、必要人数そのものを見直し

$$\text{負担} = \frac{\text{必要人数}}{\text{在籍人数}}$$

て従業員の負担を少なくする工夫が必要です。例
 えば100名分の作業を100名で行っている会社
 が単純に在籍人数だけを5名減らすと1名当りの
 負担は5%増えます。このままだと一時的には経
 費が削減できても、従業員に負担が重くのしか
 かって長続きしない可能性があります。

しかし、在籍人数の削減に
 合わせて作業の効率化など
 を行い、必要人数を10名
 減らせば1人当りの負担も
 5%超減らすことが可能に
 なります。

当初

$$1.00 = \frac{100\text{名}}{100\text{名}}$$

単純な
 人員削減

$$1.05 = \frac{100\text{名}}{95\text{名}}$$

効率化と
 人員削減

$$0.94 = \frac{90\text{名}}{95\text{名}}$$

結果的に無理なく経費の削減が行えます。

◆必要人数の公式

必要人数を少なくするためには、まずは必要人数の
 計算の仕方を知っておく必要があります。例えば荷
 物を運ぶ仕事の場合、必要人数は以下の公式で計
 算できます。

$$\text{必要人数} = \frac{\text{②総個数}}{\text{①1人が1回で運べる個数}} \times \frac{\text{④移動距離}}{\text{③移動速度}} \div \text{⑤制限時間}$$

仮に①1人が1回で2個しか持てない段ボール②120個
 を③時速2.5kmで歩いて④往復1km地点に⑤2時間で
 運ぶ場合、必要人数は右上のとおり12名となりま
 す。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/

$$\frac{120\text{個}}{2\text{個}} \times \frac{1\text{km}}{2.5\text{ km/h}} \div 2\text{h} = 12\text{名}$$

この状態で、仕事の量(総個数)や質(制限時間)を変
 えずに必要な人数を減らすにはどうしたらよいでし
 ょうか。

◆必要人数の調整

<A案>台車を使って1回に運べる個数を8個とす
 ると、必要人数は3名になりました。しかし思った
 より台車は高いので買えそうにありません。

$$\frac{120\text{個}}{8\text{個}} \times \frac{1\text{km}}{2.5\text{ km/h}} \div 2\text{h} = 3\text{名}$$

<B案>全員が少し早く(時速3km)歩くとすると
 必要人数は10名になりました。しかし、慌てると
 周囲に気を配れなくなって危ないといった意見
 があったので、この方法も見送りました。

$$\frac{120\text{個}}{2\text{個}} \times \frac{1\text{km}}{3\text{ km/h}} \div 2\text{h} = 10\text{名}$$

<C案>みんなで意見を交わすうちに、2人1組なら
 1度に5個運べることが分かりました。また、運
 ぶ人とは別に誘導員を1人おけば少し早く歩い
 ても(時速2.7km)安全だろうということになり
 ました。さらに、近道のルート(移動距離900m)
 を発見しました。こうして、必要人数を9名に減
 らすことができました。

$$1\text{名} + \frac{120\text{個}}{2.5\text{個}} \times \frac{0.9\text{km}}{2.7\text{ km/h}} \div 2\text{h} = 9\text{名}$$

◆前向きに取り組む

業種にかかわらず公式を当てはめて考えると、②
 業務量や⑤納期を維持して必要人数を減らすた
 めには、①個人能力や③作業速度を向上させる
 か、④作業工程を見直すしかありません。厳し
 い時代を乗り切るためには、こうした改善に前
 向きに取り組むことも考えてみましょう。

$$\text{必要人数} = \frac{\text{②業務量}}{\text{①個人能力}} \times \frac{\text{④作業工程}}{\text{③作業速度}} \div \text{⑤納期}$$

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお
 送りさせて頂いております。ご不要の場合はご
 連絡ください。